



## くらしの向上と 未来の礎を築く!

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
 昨年6月定例県議会「閉会日」に、議長を始めとした役員改選が行われ、私「ふじの良次」は、「副議長」に選出されました。現在、本会議の答弁者及び各委員会への理事者の出席要請の見直しなど、当たり前のように進められていた議会運営について、抜本的に見直す取り組みを行っています。残す任期は3ヵ月程ですが、引き続き、より開かれた議会を目指すとともに、より良い議会の在り方を求めてまいりたいと思っております。  
 さて、現在、NHK大河ドラマ「豊臣兄弟!」が放映されています。郡山城主であった「秀長さん」の活躍に期待を膨らませながら、日曜の夜を楽しみにされている方が多いのではないのでしょうか。ここ最近、多くの方が観光マ

ップを片手に城下町を歩いておられる姿を見ますが、やはりドラマ放映の影響が大きいのではないかと考えられます。奈良県では、「2026年NHK大河ドラマを活用した誘客促進事業」として、令和7年度予算では約5千万円、新年度予算では約9千500万円が計上されています。観光客向けのパンフレットやウェブサイトなどの制作、大河に関連したお土産物の開発のアイデアコンテストの開催、秀長公の生い立ちに沿った愛知県、滋賀県、そして奈良県の3県連携による広域周遊を促すような企画、大和郡山市を始め、県全体への誘客促進と県内周遊などの取り組みなどが行われています。引き続き、観光振興策の充実や、大河ドラマの放映終了後の、「アフター大河」も視野に入れた取り組みも求めてまいりたいと思っております。今年度から、

奈良県も含め全国で高校授業料の無償化が本格的に実施されます。教育機会の均等化や経済的負担の軽減、少子化対策など、全ての高校生が安心して学べる環境を整えることについては、異論はありませんが、一方で、老朽化が進んでいる県立学校への支援も併せて進めていく必要があります。公立高の地盤沈下が懸念される中、魅力のある県立学校として、その環境整備のための予算措置や、国による本格的な支援も求めていかなければなりません。引き続き、持続可能な学校教育の実現に向け、全力で取り組んでまいります。5期目の議員活動も、残り1年となりました。まだまだ県政課題は、数多く存在していますが、これからも、「くらしに寄りそう県政へ」をモットーに、くらしの向上と未来の礎を築く取り組みに全精力を注いでまいります。

**ふじの良次ホームページ** <https://www.y-fujino.jp/>

【代表・一般質問】や【委員会質問】などの議会報告や活動報告を定期的に更新しています。また、ご意見をメールにて受付いたしております。

**ふじの良次 政務活動事務所** 大和郡山市筒井町673-3 TEL 59-5155 FAX 59-5158

・近鉄筒井駅下車、北へ徒歩2分  
 ・事務所、西向かいに駐車場があります

【要望】外国人の方々がスムーズに生活し、生きがいを持って働くことができる、そんな環境づくりが必要だと思ふ。市町村と連絡、連携しながら取り組んでいただきたい。

その他の質問  
**奈良県中央卸売市場再整備計画について**  
**昭和工業団地周辺のまちづくりについて**  
**SDGsの企業認証について**  
**企業誘致と用地確保について**



### 令和8年3月「経済労働委員会」

◆ **奈良県中央卸売市場再整備計画について**  
 【質問】昨年末、事業者公募の入札が不落到ち終わったが、昨年度予算のもとでのような取り組みを行ってきたのか、経過についてお聞きしたい。  
 【答】令和7年7月1日、先行して整備する市場エリアについて入札公告を行い、参加表明のあった事業者に入札説明書への質問に対する回答を行った。事業者との直接協議及び個別対話、また、事業者からの設計、仕様等の提案に対する採否の検討を行うなど対応。開札の結果、事業者からの応募はあったが、予定価格を超えたため入札が不落到ちた。

【質問】昨今の資材の高騰、あるいは人件費増などで金額が折り合わなかったと推察するが、推進室としてはどのように捉えているのか。  
 【答】事業者からは、特に設備関係の施工者の確保が困難な状況とは聞いていた。それが予定価格を超過する要因となったと推測している。  
 【質問】今後の対応が非常に大事であり、特に場内業者の不安解消に務めるべきである。今後の対応、スケジュールについてお聞きしたい。  
 【答】現在、最新単価への置き換え、事業費の算出、算定作業を実施。事業者が参入しやすくなるように要求水準書の見直し緩和を検討。来年度、可能な限り早期に再入札を実施したい。令和13年度の市場エリア開業という現計画への影響を最小限に抑えられるよう検討してまいりたい。  
 【質問】具体的に、どの段階で公募、契約、そして開業と捉えようとしているのか、お聞きしたい。

### ◆ 産業政策のパッケージ2026について

【答】まだどの段階で、再入札をできるか、今の時点では答えることはできないが、できるだけ早い段階で再入札を来年度に行いたい。  
 【質問】事業費が上がるのと同時に、場内業者の使用料も上がることに、危機感や不安を持っておられる。県の考え方を教えてください。  
 【答】場内業者の使用料負担については増えることも想定されるが、負担のあり方については、使用料だけでなく新市場への移転に伴う支援策とあわせて、場内業者の方と丁寧に協議を行ってまいりたい。  
 【質問】場内業者、協会の方々とは十分に話し合っていたか。改めて、1日でも早い開業について、決意を述べていただきたい。  
 【答】市場関係者の大きな期待というものが、今後失望にならないように、これまで進めてきたプロセスを改めてしっかり確認し、今後の進め方についても、市場関係者とのコミュニケーションをしっかりと取りながら、慎重に、かつ、スピーディーに進めてまいりたい。  
 【要望】施設自体も開業50年近く経ち、老朽化も著しく進んでいる。早急に再整備を進めていただき、県民の台所である市場の整備について、県の責務としてしっかりと取り組んでいただきたい。



◆ **産業政策のパッケージ2026について**  
 【質問】「2026」の中に、ドローンにも力を入れておられること、取り組みも示されているが、2月1日の勉強会・交流会は、どういったものなのか。  
 【答】令和6年度宇陀市と、令和7年度山添村と連携してドローンを活用した日用品配達などの実証実験を行い、結果と判明した課題を県内市町村に説明。今後の活用可能性を共有した勉強会を開催。ドローンを活用した地域課題の解決に関心を持つ市町村と、技術・サービスを有する民間事業者のマッチングを図り、次世代技術産業の育成を進めることがねらい。当日は、9自治体と、10の事業者が参加した。  
 【質問】事業承継にかなり力点を置いておられるが、県としての考えをお聞きしたい。

### 令和7年9月「経済労働委員会」

◆ **高齢者雇用について**  
 【質問】高齢者の方々の働く環境を、労働局などと連携を図りながら対応し、企業に対して何らかの指導、助言等もする必要があるのではないかと。  
 【答】多様な人材がみずからの希望や適性に合った柔軟な働き方ができるように、社会保険労務士等の専門家をアドバイザーとして企業に派遣する取組をしており、企業内で高齢者も含めて、働きやすい環境づくりが進むような支援をしている。  
 【要望】県もキャリアチェンジ等々を含めて、さらに支援策、働きやすい環境整備に向けて労働局と連携して進めていただきたい。



◆ **観光振興施策について**  
 【質問】来年の大河ドラマを活用した誘客促進事業の現在の取組状況についてお聞きしたい。  
 【答】観光客向けの情報発信ツールを制作するとともに、県内の周遊や、愛知県、滋賀県、奈良県の3県連携による広域周遊を促す企画も検討している。今後SNSを活用した情報発信を行い、旅行会社等に、県内の観光地を周遊する旅行プランの造成も働きかけたい。  
 5月に、関係自治体、各地域の観光協会、商工会、JR西日本、近鉄、奈良交通と共に「奈良県大河ドラマ「豊臣兄弟!」観光推進協議会」を設置。これらの地域への誘客、県内外イベントでの出展によるPRに取り組んでいる。  
 【質問】宇陀山山城、高取城など中南和周辺にも非常に多くの観光スポット、グルメスポットがある。この周辺に向けてのネットワークを今後いかに図っていくのかお聞きしたい。  
 【答】奈良に眠っている貴重な資源を、この機会を活用し、地域の皆様と共に観光地として整備をしながらPRをしていきたい。  
 【要望】大和郡山市を中心に、中南和の観光スポットを巡っていただくことに、大いに期待をし、さらなるご尽力をお願いしたい。

その他の質問  
**奈良公園事務所の業務について**

### 令和7年12月「経済労働委員会」

◆ **中小企業の活性化に向けた取り組みについて**  
 【質問】県の中小企業省力化生産性向上設備投資支援事業の申請期間が、8月28日から来年1月16日となっているが、現状についてお聞きしたい。  
 【答】令和7年8月28日から申請受け付けを開始したところ多くの申請をいただき、予算額に達したため、この10月24日をもって受け付けを終了した。  
 【要望】県内の中小企業の方々もこういった支援を強く求めておられると感じる。引き続きのご支援をお願いしたい。

◆ **産業政策のパッケージ2025について**  
 【質問】若年者の人材確保において現在の取り組みについてお聞きしたい。  
 【答】県内企業魅力発見事業とインターンシップ推進事業を実施。  
 県内企業魅力発見事業は、高校生と保護者を対象に、県内の企業を訪問するバスツアー。インターンシップ推進事業は、県内外の大学生等を対象に、県内企業で就業体験を実施。この他に、奨学金返済への支援、学生や大学のキャリアセンターに対して、県内企業の情報を発信している。  
 【質問】新卒の高校生、大学生の県内就業率は、現在どのようになっているのか。  
 【答】令和7年3月労働局の公表では、高校生の県内就業率が、63.2%。大学生の県内就業率が15.3%という状況。  
 【要望】県内の魅力のある企業も多くあるので、PRの活動も含めて、多くの方々に目にとめていただく機会をさらに設けていただきたい。



【質問】働き手不足の中で、外国人材の確保に向けた取り組みが進められている。現在の外国人労働者の現状についてお聞きしたい。  
 【答】令和6年10月時点の県内事業所で雇用されている外国人労働者数は9929人。  
 【質問】県内で働いている外国人の方々の生活環境について、県はどのように対応しているのか。  
 【答】生活支援について、多文化共生推進プランを、総務部の国際課で策定しており、生活支援や就業支援、企業の人材確保についての取り組みを進めている。



【答】小規模事業者、企業団体、工業組合などの団体、金融機関の担当の方から、事業承継が困り事として大きなウエイトを占めているとお聞きした。産業政策のパッケージ全体として、人材確保、産業用地の創出、そして事業承継、この3つを重点的に取り組んでいこうと考えた。  
 【質問】「産業政策のパッケージ」に向けての考え方、とらえ方はどのように思っておられるのか。  
 【答】企業の声を聞くという基本姿勢を継続しながら、その声によって必要な新しい施策を展開していき、実施していきたい。  
 【要望】企業としっかりと情報交換するとともに、情報共有を図りながら「産業制度のパッケージ」の更なる充実に向けて進めていただきたい。

### ◆ 広域周遊観光の促進について

【質問】新年度に向けての大河ドラマ関連事業の概要についてお聞きしたい。

## ふじの良次 『第9回県政報告会』のお知らせ

ふじの良次は、県政の課題として掲げている雇用の安定と創出や地域格差の問題、さらには、医療・教育の充実、町おこしの推進、地域経済の活性化等に向け、全力で取り組むとともに、地域の様々な活動も精力的にこなしています。  
 この度、そんな変わらぬ志と情熱をもって活動を続ける、ふじの良次の「第9回県政報告会」を開催する運びとなりました。つきましては、右記の通りおこないますので、何卒ご臨席賜りますようお願い申し上げます。

日時 **2026年4月12日(日)**  
 開会 **午前10時**  
 (受付 午前9時30分より)  
 場所 **大和郡山市南部公民館**  
 大和郡山市筒井町600-4  
 ☎ 0743-59-1316



※ 近鉄筒井駅から徒歩5分です。  
 ※ 駐車場に限りがありますので、公共交通機関でのご来館をお願いいたします。

【お問い合わせ】 ふじの良次事務所 ☎ 0743-59-5155